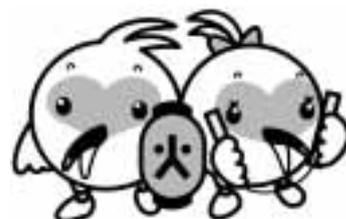


住宅用火災警報器が あなたの生命を守ります!!

11月は
住宅用火災警報器
設置促進広報強化月間

なぜ住宅に火災警報器が必要なの？

- ・住宅火災で亡くなった方の約6割が逃げ遅れによるものです！
- ・逃げ遅れによる被害を減少させるため消防法が改正され、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務づけられています！



いつまでに設置しなければならないの？

- ・新築住宅：平成18年6月1日から義務化済みです。
- ・既設住宅：平成23年5月31日までに設置しなければなりません。

どこで買えるの？ 値段はどれくらいするの？

- ・ホームセンターや、電器店、ガス販売店等で購入できます。

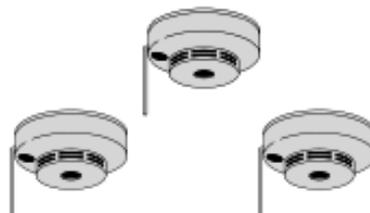
【単独型】

- ・火災を感知した警報器だけが警報を発するタイプ
- ・3千円前後で購入できます。



【連動型】

- ・連動している全ての警報器が一斉に警報を発するタイプ
- ・価格は1個あたり8千円前後から1万円前後です。



どこに設置すればいいの？ 取り付けは難しくないの？

- ・設置場所は、
全ての寝室
寝室のある階の階段
(2階建ての場合は1階の階段を除く)
(3階建て以上の場合はお問い合わせ下さい)
- ・火を扱う台所や居室にも取り付けることをお勧めします。
- ・取り付けの位置は、「天井」又は「壁の上部」です。
- ・取り付けはドライバー1本でできます。



【お問い合わせ先】 村上市消防本部 TEL 53 - 0119
または 新潟県防災局消防課 TEL 025 - 282 - 1665

「ぬくもりを感じて」

～人権・同和教育講演会～

九月二十七日、徳島県の中倉茂樹さんを講師に招いて「ぬくもりを感じて」と題した、人権・同和教育講演会が、村民会館大ホールで開かれ、一般村民のほか小・中学校の教職員など約百人が集まりました。

九月二十七日、徳島県の中倉茂樹さんを講師に招いて「ぬくもりを感じて」と題した、人権・同和教育講演会が、村民会館大ホールで開かれ、一般村民のほか小・中学校の教職員など約百人が集まりました。

講演では、いじめや結婚差別など自身の体験談や差別との闘いを通して、同和教育の必要性を熱く語っていただきました。

講演会を傍聴した皆さんは、人権について深く考え、差別をなくすための人権・同和教育

育の必要性について認識合いました。



ご存知ですか？ 「コホート調査」

新潟大学・新潟医療福祉大学・国立がん研究センターではプロジェクトチームを作り、皆さんが健康に生活できるための情報収集を目的として、村上保健所・村上市・粟島浦村・関川村の協力で、県北地区の方々を対象とした大規模なコホート調査（長期間にわたる健康調査）を実施する予定です。

この調査を通して、皆さんへ生活習慣病予防に役立つ情報提供など行う計画もあります。詳しくは、「広報せきかわ12月1日号」に掲載します。

問い合わせ先

住民福祉課健康介護班 TEL 64 - 1472

随想リレー

80

先生から先生に



青野兼太郎先生
(関川小学校)

みなさんのお子さんが初めてしゃべった言葉は何だったでしょうか。問もなく一歳半になるわが息子は「ないつ！」（手のひらを上に向けたジェスチャー付き）でした。これは、食事のとき、大好きなパンやお肉ばかり食べている息子に「もうないよ。ないないだよ」としていたら覚えたようです。で、次に覚えた言葉は「（ぶは）うめえ」・・・これは、麦茶を飲んだ後に言う私のまね。正直、赤ちゃんが最初に発する言葉は「ママ」「パパ」「ブーブー」といった名詞の類だと思っていました。子育てをしていると、そういった固定概念がごとごとく打ち破られています。そ

れがとても面白く、新鮮です。（と、いかにも「良いパパ」のように書いていますが、妻の力なしで青野家は語れません。）子どもが何を考えているのかを一生懸命考えるという点では、教師の仕事と重なるところがあります。子育てをしているときに「今の学校の子どもたち（このこと）もこれだけ考えているだろうか」と、ふと振り返ることがあります。良いパパになれるよう＝「親は子の鏡」、良い教師になれるよう＝「教師は子どもの鏡」とこれからも一層の努力をしていかなければと感じます。どっちも「反面教師」にならないようにしなければ。

12月1日号は、関川中学校の斎藤 佑先生にバトンタッチ！